

「CVS認定試験」受験対策のポイント

公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会

ここでは、CVSの資格を目指す方にとって“どのような受験対策をして認定試験に臨めば良いか”の参考となるよう、受験対策のポイントとして、同試験の実施要領には掲載されていない問題の構成並びに問題の中で大きな配点を占める短文記述問題及び論述問題で問われる知識や能力、期待される解答の仕方及び評価ポイントについてご紹介いたします。

なお、以下の内容は2025年度と2026年度に限ってのことであるため、あらかじめご了承ください。

1. CVS認定試験の問題構成

CVS認定試験の問題は基本問題と論述問題の2つで構成されており、基本問題はさらに次の①～④の問題で構成されています。

1) 基本問題（合計50点）

- | | |
|--------|----------|
| ① 正誤問題 | ③ 用語記述問題 |
| ② 選択問題 | ④ 短文記述問題 |

2) 論述問題（合計50点）

2. 短文記述問題及び論述問題で問われる知識や能力

ここでは、出題頻度の高いVE概論及びVE実施手順、VE管理に関する問題での代表的な例をご紹介します。

1) VE概論

- ① VEを間接業務に適用する場合の目的や対象機能・コスト等について説明できるか
- ② VEを製品の開発設計段階に適用する場合の目的や実施手順、対象コスト等について説明できるか
- ③ VE実施手順の各基本ステップにおけるアウトプットとそれを得るための具体的な情報について説明できるか

2) V E 実施手順〔機能定義段階〕

- ① 機能定義段階の意義について説明できるか
- ② “機能の定義”の方法について説明できるか
- ③ 製品の構成要素の機能を定義し、機能系統図を作成できるか
また、シナリオからも機能を定義し、機能系統図を作成できるか

3) V E 実施手順〔機能評価段階〕

- ① 製品の開発設計段階における機能評価の方法（目的、プロセス、使用する技法等）について説明できるか
- ② “機能の評価”の方法について説明できるかどうか
- ③ 機能系統図の各機能分野の現行コストを算出して機能評価表を完成させ、改善着手の順位を決められるか
- ④ 機能評価を行った結果、目標の達成が困難であることがわかった場合に、その対策について説明できるか

4) V E 実施手順〔代替案作成段階〕

- ① アイデア発想に活用できる技法について説明できるか
- ② アイデア発想である程度の数のアイデアを発想後にアイデアをさらに増やすための方法について説明できるか
- ③ 詳細評価で、代替案のコストを固定費・変動費の考え方にもとづいて計算できるか
また、そのコストと生産数の関係をグラフで示せるか

5) V E 管理

- ① 新規システムの開発にV Eを適用する場合の実施内容（手順や活動の起点、対象コスト等）について説明できるか
- ② 新製品の開発段階におけるV E適用の基本的なステップについて説明できるか
- ③ V Eを活用する場合のテーマ選定時の要点について説明できるか
- ④ V Eの専門家として、製品開発におけるV E活動の計画を作成できるか
- ⑤ コンサルタントとして、今後組織内に広くV Eを定着させ、成果を挙げるための提案内容を体系的に纏められるか
また、組織においてV E活動をさらに強化するための対策を立て、その実施計画を立案できるか

3. 短文記述問題で期待される解答の仕方と評価ポイント

1) 期待される解答の仕方

- ① 用語や概念を正確に説明すること
- ② 図や数値を整理して正しく示すこと
- ③ 要点を短く明快に纏めること、など

2) 評価ポイント

- ① 知識が正確かどうか
- ② 表現が簡潔で明瞭かどうか、など

4. 論述問題で期待される解答の仕方と評価ポイント

1) 期待される解答の仕方

- ① 背景や前提を理解していることを示すこと
- ② 論点を立て、根拠を展開して、結論を導くこと
- ③ 必要に応じて事例を交え、説得力ある説明をすること、など

2) 評価ポイント

- ① 知識が正確かどうか
- ② 知識同士の繋がりが明確かどうか
- ③ 論理に一貫性と深さがあるかどうか
- ④ 表現に明快さと説得力があるかどうか、など

以 上